

Mizuho Daily Market Report

2024/5/3

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	155.47	153.64	▲0.93	▲2.01
EUR	1.0719	1.0725	+0.0013	▲0.0005
AUD	0.6541	0.6565	+0.0042	+0.0047
SGD	1.3587	1.3549	▲0.0059	▲0.0041
CNY	7.2411	7.2411	+0.0000	+0.0012
MYR	4.7540	4.7545	▲0.0180	▲0.0215
THB	36.91	36.95	▲0.11	▲0.07
IDR	16185	16185	▲75	▲3
PHP	57.53	57.55	▲0.23	▲0.26
INR	83.44	83.47	+0.03	+0.14
VND	25365	25382	+48	+23

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.581%	▲4.7 bp	▲12.3 bp
日本(10年)	0.901%	+1.0 bp	+0.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.541%	▲4.3 bp	▲8.9 bp
オーストラリア(5年)	4.126%	▲5.3 bp	+3.3 bp
シンガポール(5年)	3.391%	▲1.1 bp	+6.6 bp
中国(5年)	2.179%	+0.0 bp	+9.3 bp
マレーシア(5年)	3.781%	▲0.4 bp	▲1.0 bp
タイ(5年)	2.543%	▲2.0 bp	+1.9 bp
インドネシア(5年)	7.078%	▲8.1 bp	+0.2 bp
フィリピン(5年)	6.768%	▲2.7 bp	▲1.5 bp
インド(5年)	7.170%	▲2.6 bp	▲2.0 bp
ベトナム(5年)	2.230%	+0.0 bp	▲3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	38,225.66	+0.9%	+0.4%
N225(日本)	38,236.07	▲0.1%	+1.6%
STOXX50(ユーロ圏)	4,890.61	▲0.6%	▲1.0%
ASX(オーストラリア)	4,446.15	+0.6%	+1.3%
FTSE(シンガポール)	3,296.89	+0.1%	+0.3%
SSEC(中国)	3,104.82	+0.0%	+1.7%
SENSEX(インド)	74,611.11	+0.2%	+0.4%
JKSE(インドネシア)	7,117.43	▲1.6%	▲0.5%
KLSE(マレーシア)	1,580.30	+0.3%	+0.7%
PSE(フィリピン)	6,646.55	▲0.8%	+1.1%
SETI(タイ)	1,363.25	▲0.3%	▲0.1%
VNIINDEX(ベトナム)	1,216.36	+0.6%	+0.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.74	▲0.2%	▲4.3%
金	2,303.83	▲0.7%	▲1.2%
原油(WTI)	78.95	▲0.1%	▲5.5%
銅	9,642.46	▲1.4%	▲1.0%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	152.60	—	154.40
EUR/USD	1.0540	—	1.0850
AUD/USD	0.6390	—	0.6690
USD/SGD	1.3500	—	1.3680
USD/CNY	7.2050	—	7.2680
USD/INR	4.6460	—	4.8050
USD/THB	36.00	—	37.50
USD/IDR	16080	—	16300
USD/PHP	55.90	—	58.00
USD/INR	82.30	—	83.70
USD/VND	25,000	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は155円台後半でオープン。東京仲値にかけてはドル買い円売りが優勢となり、156円台前半まで上伸。その後は流れは続かず、為替介入の警戒感も燃る中、ドル円は上値重く推移。結局155円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に上昇。米金利低下の流れを受けてドル売りが進んだことがアジア通貨のサポート要因となった。

海外市場のドル円は154円台後半でNYオープン。NY朝方に発表された米新規失業保険申請件数と失業保険継続受給者数が共に予想を下回り、米第1四半期単位人件費も予想を上回ったことからドル買いで反応する局面もあったが、上値追いは限定的。その後は米金利が大幅低下する動きに追随し、153円台後半まで反落。NY午後は米金利が下げ幅を拡大する動きが一段の重しとなり、153円台前半まで値を下げる。その後は売り一巡となり、反発し153円台後半でクロスした。

【金利】

米金利は低下。複数の主要指標発表があり、新規失業保険申請件数が予想を下回るなど全体的に強めとなったことで、発表後は債券売りが強まり、金利は上昇。しかし、その後は前日のFOMC後の流れを受けた買いや、金曜日の米4月雇用統計への様子見での買い戻しなどで引けにかけては金利が低下した。

【予想】

本日のドル円相場は上値の重い推移を予想。引き続き介入に対する警戒感が意識されやすいことに加え、昨日海外時間に米金利が低下していることも併せて考えると積極的にドルを買う動きは控えられやすいだろう。東京休日となり流動性が低下する中、思わぬタイミングで慌ただしく上下する展開には注意したい。

【本日の予定】

(日本) 休場 憲法記念日
(アジア) 3月 シンガポール 小売売上高
(アジア) 3月 豪 持家住宅ローン / 住宅ローン額 / 投資家ローン額
(欧州) 3月 ユーロ圏 失業率
(欧州) 3月 仏 製造業生産 / 財政収支
(欧州) 3月 仏 鉱工業生産 / 鉱工業生産
(欧州) 3月 伊 失業率
(欧州) 3月 愛 鉱工業生産
(欧州) 4月 愛 PMIサービス業
(欧州) 4月 愛 登録失業者数
(欧州) 4月 英 サービス業PMI(確) / 外貨準備高変化
(欧州) 4月 西 失業者数変化
(米国) 4月 ISM非製造業景況指数
(米国) 4月 サービス業PMI(確)
(米国) 4月 失業率 予想:0.3% 前回:0.3%
(米国) 4月 平均時給 予想:3.8% 前回:3.8%
(米国) 4月 非農業部門雇用者数変化
(米国) 予想:275k 前回:303k

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。